

自己点検・評価報告書

(令和6年度事業分)

令和7年8月

松浦市教育委員会

※留意点

- 本報告書中の「評価」については、A…達成している、B…概ね達成している、C…達成していない、としています。
- 本報告書中の「教育委員会」とは「狭義の教育委員会(教育委員の合議体)」を意味します。

1 教育委員会及び教育委員の活動について

項 目		評価	活動内容 等
(1) 教育委員会会議の運営	① 会議の開催回数	A	○定例会を12回開催した。
(2) 市長との連携		A	○市長が設置した総合教育会議において、本市教育の現状等について意見交換を2回行った。 第1回R6.6.5、第2回R7.3.25
(3) 教育機関等との連携	① 学校への訪問	A	○学校訪問として令和6年度は青島小中学校を訪問した。 学校経営説明、授業参観、小学校児童との給食・懇談を行った。 R7.1.24 ○入学式、卒業式、その他諸行事の折、各委員それぞれ各学校を訪問した。
	② その他施設への訪問	A	○長崎県立松浦高等学校との意見交換会を実施した。 松高みらい教育懇話会 第29回 R6.7.23 第30回 R7.2.21 ※R7年度より学校運営協議会へ移行するため終了
(4) 教育委員の自己研鑽		A	○長崎県都市教育長協議会(4回開催、4/18～19長崎市、7/18～19諫早市、11/18～19島原市、1/28～29大村市) ○5/8～10九州都市教育長協議会定期総会・全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会(長崎市) ○5/28令和6年度長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び県市町教育委員会合同研修会(佐世保市) ○11/21～11/22 令和6年度長崎県市町村教育委員会研究大会(壱岐市)

2 教育委員会が管理又は執行する事務について

項 目	評価	活動内容 等
(1) 教育振興基本計画の推進	A	○第2期教育振興基本計画の成果と課題検証 ・R6.7.29 第1回第3期策定委員会において説明・協議 ○第3期教育振興基本計画(R7～R11)の策定 ・R6.7.29 第1回策定委員会 ・R6.10.24 第2回策定委員会 ・R6.12.17 第3回策定委員会 ・R7.1.6～R7.2.5 パブリックコメント ・R7.2.20 教育委員会2月定例会において議決
(2) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	A	○令和6年度松浦市教育方針及び松浦市教育努力目標 (R6.3.29 3月定例会で議決)
(3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他進退について内申すること	A	○教職員の人事内申に係る決定 (R7.2.20 2月定例会で議決)
(4) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	A	○規則・規程・要綱の制定改廃議案…6件 【改正】6件 ・松浦市遠距離通学児童生徒通学費補助金交付要綱の一部改正 ・松浦市少年センター運営規則の一部改正 ・松浦市立小中学校管理規則の一部改正 ・松浦市立学校給食調理場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正 ・松浦市立図書館指定管理者制度導入検討会設置要綱の一部改正 ・松浦市教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則の一部改正
(5) 教科用図書の採択に関すること	A	○令和7年度使用中学校教科書の採択に係る決定 (R6.7.23 7月定例会で議決)

3 学校教育の環境整備に関する事務

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校施設整備の推進	① 学校施設長寿命化計画の進捗管理	A ○市全体の管理計画を含めた現状の見直しを進めた
	② 学校施設長寿命化計画に沿った学校施設の整備	B ○鷹島学校給食共同調理場改築工事 ・R7.7完成に向けて順調に進捗した。 ○中学校2校(鷹島・今福)屋内運動場照明のLED化 ・今福中学校屋内運動場照明設備LED化 ・鷹島中学校屋内運動場照明設備LED化については、資材費の高騰化により来年度に延期 ○小中学校防犯カメラの整備(設計業務) ・R7工事に向けて設計業務を完了した。
	③ 学校施設・設備に関する定期的な現地ヒアリングの実施	A ○予算編成時に各学校を巡回してヒアリング等を行い緊急性・実効性の評価判断に即した予算配分の実施 ・当初予算作成のため、全小中学校の現地視察、聞き取りを行った。
(2) 学習環境整備の推進	① GIGAスクール構想の円滑な実施のための環境整備	A ○統合型校務支援システム運用経費 6,939千円(内訳) ・統合型校務支援システム使用料 4,730千円: ・運用に係る保守料 264千円 ・回線使用料等諸経費 1,202千円 ・ウイルス対策ソフトライセンス使用料 743千円 ○校務用パソコン・校内ネットワーク機器入替 71,698千円(内訳) ・小学校38,426千円、中学校33,272千円
	② 更新計画に沿った電子機器(電子黒板、学習用端末・デジタル教科書等)の整備	A ○令和7年度以降の児童・生徒用タブレット更新計画のため、学校との調整、財政部局との予算協議を行った。
(3) 安全・安心な学校給食の提供	① 食物アレルギーによる事故件数0件の継続	A ○食物アレルギーについては、代替食等による対応を実施しており、年間を通じて事故報告なし。食物アレルギー対応マニュアルに則り、万全な対応をしている。 〈R6アレルギー対応者〉 松浦中央:0人、福島:0人、鷹島:0人

項 目		評価	活動内容 等
	② 調理場における異物混入等による事故件数0件の達成	A	○異物混入等による事故件数0件。 ・学校への配食後に異物混入が確認されたものは、18件（松浦中央8件、福島8件、鷹島2件）であった。調理場で混入したことが確認できたものもあるが、いつ混入したのか不明なものが多くある。児童生徒の誤飲による身体への影響(事故)はなかった。
(4) 教育委員会・総合教育会議の円滑な運営	① 教育委員会(定例会・臨時会)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	A	○毎月の定例会の円滑な実施に努めた。 ・開催場所については、市役所等のほか、鷹島公民館、福島支所などで実施した。 ・会議録を速やかに作成し、ホームページに掲載。会議内容の周知に努めた。
	② 総合教育会議(年2回)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	A	○「教育のまち 松浦」の確立に向けて、第1回は令和6年6月5日に「特別支援教育について」を協議項目として開催した。第2回は令和7年3月25日に「松浦市の教育施策の大綱について」を協議し、策定したばかりの第3期教育振興基本計画を大綱に置き換えることとした。

4 学校教育の推進に関する事務

項 目		評価	活 動 内 容 等
1 確 かな 学 力 の 育 成	(1) 主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 実 現 に よ る 児 童 生 徒 の 学 力 の 向 上	①授業を磨き合う校内研修の推進	A ○「授業研究や事例研究等実践的な研修」における「よくしている」と回答した割合（R6全学調学校質問紙調査、（ ）は全国値） 〔小学校〕 33.3% (66.7%) 〔中学校〕 83.3% (71.4%) ・中学校は全国値を上回り、授業を中核においた校内研修が実施されている状況にある。 ・毎月の市校長研修会、市教頭研修会において、校内研究の充実及び授業改善の推進を指導した。また、児童生徒の学びを支える学級の支持的風土の醸成及び安全安心な学級づくりについても指導を行った。 ○市研究主任研修会を年2回開催し、各校での学力向上対策の質の向上について指導を行った。
		②各種学力調査を生かした授業改善と家庭学習の充実	A ○「授業内容がよく分かる」の回答割合(R6全学調質問紙調査、()内は前年度) 〔小学校〕 国語 85.0(86.0)(-1.0)、算数 80.2(79.8)(+0.4) 〔中学校〕 国語 85.6(79.3)(+6.3)、数学 70.7(73.0)(-2.3) ・小学校算数及び中学校国語は、前年度を上回ったが、中学校数学はここ数年間、下回る傾向にある。 ・市教育基本計画の目標値(85%)については、小学校国語、中学校国語において達成できた。その他の教科も徐々に向上傾向にある。 ○「平日1日あたり何時間勉強をしますか」における「30分未満」の回答割合。(R6全学調質問紙調査、()内は全国値) 〔小6年〕 20.4 (18.3) 〔中3年〕 23.8 (17.0) ・中学3年生は4人に1人が30分未満。指導改善を要する。 ○松浦市学力調査の同一集団経年比較における前年度より向上した学年を有する学校数 〔小学校〕国語 6校/9校、算数 7校/9校 〔中学校〕国語 2校/7校、数学 1校/7校 ○学校指導訪問A訪問の実施 ・鷹島中(9月)、志佐小(10月)、今福小(11月)3校への学校指導訪問を実施し、教科指導力及び授業改善について、教科指導員による直接指導を行った。
		③研究指定校を中核とした研究の推進及び普及	A ○市教育委員会研究指定校2校(福島養源小・今福中)の研究推進 ・今福中学校[R7. 1. 22 研究発表会開催] 〔研究テーマ〕 「自己の目標に向かって、主体的に学ぶ生徒の育成」 ～個別最適な学びをめざして～ ※福島養源小学校は中間指導のみ ○県教育委員会研究実践協力校1校(福島養源小) 研究内容は市教育委員会研究指定と兼ねる

項 目		評価	活 動 内 容 等
	(2)ICT環境を活用した教育活動の充実	A	○「ICT機器・デジタル教科書を活用して授業を行うことができる教師の割合」(R6情報化実態調査より、()内は前年度) 〔小学校〕 86.6%(76.5%) 〔中学校〕 94.4%(86.6%) ・1人1台タブレットや電子黒板を活用した授業が増えた。 ・不登校児童生徒等を対象とする遠隔授業も実施されている。 ・家庭学習でのタブレット活用した予習型授業の研究も推進されている。
	(3)小中学校9年間を通した外国語教育の充実	B	○「CEFR のA1レベル相当以上の英語力をもつ中学3年生の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査、()は前年度) 32.6%(28.5%)※CEFRA1 レベル相当=英検 3 級相当 ○「授業において発話の半分以上を英語で行う教員の割合」(公立中学校英語教育実施状況調査) R6 調査なし ・英語科担当教員に対する研修会等の積極的受講を指導、市独自の研修会の実施 ・授業を中核とした研修の充実及び授業改善の推進
2 豊 か な 心 の 育 成	(1)道徳教育の推進(教育活動全体・「考え・議論する」道徳科)	A	○「自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)」の肯定的回答 〔小学校〕 85.0%(83.8%)、〔中学校〕 80.6%(84.2%) ○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う(承認)」の肯定的回答 〔小学校〕 89.8%(94.9%)、〔中学校〕 92.5%(84.7%) ○「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答 〔小学校〕 94.0%(87.2%)、〔中学校〕 95.1%(90.5%) (以上、R6全学調質問紙調査、()は前年度) ・いずれも約8割～9割が肯定的回答であり、全体として前年度より向上傾向にある。 ○「長崎っ子の心を見つめる」教育週間の実施校数(16/16校) ・生命尊重に関する校長講話 ・道徳科授業の外部公開 ○市内一斉のオープンスクールの実施(6月～2月) ○松浦市生徒代表者会議の開催(令和6年8月2日) ・市内全中学校7校の参加。いじめ根絶標語づくりの発表他
	(2)ふるさと教育の充実 (探究的な学びとキャリア教育の推進)	A	○「ふるさと教育」年間計画に基づく実施校数 16/16校 ・中学校区ごとの7年間(小3～中3)を見通した「総合的な学習の時間の『ふるさと教育』年間指導計画」に基づく実施 ○「キャリア教育」の実施校数 16/16校 ・中学校職場体験学習の実施校数 7/7校
	(3)読書を通じた有用性 (言語力・知識・感性・表現力・想像力)の向上	A	○「家庭における読書の働きかけ」に取り組む学校数 16/16校 ○「魅力ある学校図書館づくり」に取り組む学校数 16/16校 ○「図書標準冊数」蔵書率 103.7% (92,061冊)

項 目		評価	活 動 内 容 等
3 健 や か な 体 の 育 成	(1) 健康・安全教育の徹底	A	○「食育を学校行事の中で行っている学校数」 13/16校= 81.3% (R6学校運営調査より) ○「食育を地域との関わりの中で行っている」学校数 13/16校= 81.3% (R6学校運営調査より) ○「15歳児の永久歯のう歯保有者の割合」 34.68% (前年度 47.4%) (R6歯科疾病実態調査より) ・食育はいずれも前年度並み。う歯は前年度を下回った。 ○通学路安全マップの活用校数 (9/9校) ○交通安全指導、水難防止指導の実施校数 (16/16校) ○避難訓練(火災・地震等想定)の実施校数 (16/16校) ○通学路安全プログラムによる合同点検の実施小学校区 [R6点検地区] 御厨小、星鹿小、青島小学校区
		A	○「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合 (R6全学調「質問紙調査」、()内は前年度) [小学校] 95.2% (96.1%) [中学校] 91.9% (90.5%) ・小学校は市基本計画R6年度目標値(95%)を達成した。 ○「携帯電話やスマートフォンの取り扱いについての指導、啓発している学校数」 16/16校=100% ○リーフレット「松浦っ子のよりよい成長のために」の活用校数 16/16校=100% ○松浦市学校保健大会の開催(令和7年2月22日) ・参加者約 100人 ・講演会「学校健診における成長曲線の有効活用」 (長崎大学大学院医歯学総合研究科 伊達木 澄人氏)
	(2) 体育及び武道指導の充実	A	○市中体連球技・武道大会、陸上競技大会、駅伝大会、小学校陸上競技大会の実施 ・県中総体成績上位者生徒2人(陸上)が九州大会への出場権獲得 ○各校の運動会、体育大会の実施 ・昼食有りの学校数増。来場者数増。来場者の制限等無し。 ○体育の授業改善「アクションプラン」作成 (16/16校) ・体力向上、運動習慣の機会拡充 ○「なぎなた指導者スペシャリスト」事業の実施 ・R6は講師が確保できず実施できなかった ・「なぎなたのまち松浦」の啓発、推進 ○「なぎなた指導者講習会」の実施 ・中学校保健体育科担当者を対象に実施(夏季休業中) ○部活動休養日の週2日以上実施している運動部(100%) ○部活動時間(平日2時間程度、土・日曜日3時間程度)を適切に実施している運動部(100%)

項 目		評価	活 動 内 容 等
4 児 童 生 徒 の 学 び を 支 え る 学 校 づ く り	(1)児童生徒が安心して学 ぶことができる学級づく り ・「Stop the 不登校！」を 活用した組織的な取 組の推進	B	○R6年度の全児童・生徒数に対する不登校の割合〔()内は前 年度〕 〔小学校〕 11 人(前年度12人)1.1%(増減なし) 〔中学校〕 34 人(前年度34人)6.0%(+0.3) 〔全 体〕 45 人(前年度46人)2.9%(+0.2) ・教育振興基本計画R6年度目標値(全体 0.6%)は未達成 ・過去最高人数であった令和4年度よりも改善傾向 ○リーフレット「Stop the 不登校」の活用校数(16/16 校) ○学習規律、支持的風土の醸成を目的とした「授業づくり研修会」 の開催 ○小学校高学年の教科担任制導入の促進、啓発
	(2)子供の心と向き合う教 育相談体制の充実	A	○「いじめ問題の解消率」 73.0%(前年度 88.0%) (R 6 問題行動・ 不登校等調査結果より) ○ステップ子育て相談会の実施(年3回) ○スクールカウンセラー(県派遣5人、市1人)6人の中学校7校 (小学校はエリア校)への配置 ○スクールソーシャルワーカー配置事業の活用(県派遣2人) ○小学3年、中学1年の児童生徒対象の全員面談の実施
	(3)特別な配慮を要する児 童生徒への支援体制 の充実	A	○5歳児健診からの就学支援 ・子育て・こども課との連携による就学支援 ・幼稚園、保育所等の訪問実施 ・就学前の保護者との面談及び就学支援 ・就学前の個別の教育支援計画の作成と小学校へ引継ぎ ○「個別の教育支援計画」作成率 〔就学前〕 100%〔就学後〕 100% ○通級指導教室の設置及び充実 〔小学校〕御厨小、志佐小、調川小、福島養源小の4校に設置 ・市内小学校8校から、児童 64人(R5年68人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導ができた。 〔中学校〕御厨中、志佐中の2校に設置 ・市内中学校6校から、生徒 30人(R5年27人)が通室 ・学習支援や特性に応じた効果的な指導及び進路、進学先に 応じた支援ができた。 ○教育支援員の配置及び充実 ・特別支援教育支援員を 24 人配置 〔配置率〕 24/24 人=100%※配置率＝現員数／配置要望数 ・学校からの情報収集(児童生徒の特性や教育支援員要望数 他)を行い、適正な配置に努めた。 ・学校指導訪問において教育支援員の配置効果(対象児童生 徒の生活上の安定及び全般的な変容)等を確認 ・教育支援員研修会の開催(年1回)による資質向上 ○指導教諭の活用(研修会、学校訪問)

項 目		評価	活 動 内 容 等
5 教 職 員 の 資 質 向 上	(1)働き方改革の実現による教職員の志気の向上	B	○1か月あたり 80 時間超過勤務教職員数 延べ37人(R5度 30人) ※延べ37人(中学校4校 15 人、小学校2校2人) ・1か月あたり 80 時間超過勤務ゼロを目指した教職員指導 ・ノ一部活動デー、部活動休養日、定時退勤日の完全実施 ・在校等時間の自己管理にかかる教職員の意識改革 ○教職員ストレスチェックの実施(年2回)
	(2)「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」を踏まえた資質の向上	A	○「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」の活用 ・校長研修会、教頭研修会、中堅教員研修会他 ○長崎県立大学教授を講師として実施し教職員研修会の実施 ・授業づくり研修会（英語科担当教員研修会） ○学習指導要領の浸透と教職員の資質向上 ・授業づくり研修会の充実(若手教員の育成) ・学校訪問における授業視察、校内研究会への指導主事派遣 ・県及び県教育センター主催の研修会等の受講促進 ・中央研修への教職員の計画的派遣
	(3)全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上	A	○新たな人事評価制度における校長面談を通じた指導 ・学校経営における特別支援教育の推進 ・個別の支援を要する児童生徒への組織的対応 ・特別支援教育コーディネーターの活用 ・校内教育支援委員会開催 ○特別支援教育の研修会の充実と関係機関との連携 ・市特別支援教育コーディネーター連絡協議会他 ・県立佐世保特別支援学校及び各種関係団体との連携
6 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 ・ 融 合 の 強 化	(1)コミュニティ・スクールの推進	A	○コミュニティ・スクール・地域学校協働本部の設置 〔設置校数〕 9/16校 ※R2 上志佐小学校、R3 福島養源小学校・福島中学校 R4 鷹島小・鷹島中学校、R4 調川小・調川中学校 R5 今福小・今福中学校 ○地域・保護者と連携した学校行事等の充実 ・地域の人、物、事を活用した行事 ○市内一斉「みんなでオープンスクール」の再開(6月～2月) ・R6来校者数 市内15校延べ 3,891 人
	(2)校種間及び関係機関の緊密な連携(幼保、小、中、高、子育て・こども課)	A	○松浦市幼保小連携推進協議会設立に向けた取組 ・県幼保小連携推進協議会担当者会の開催(R6. 6. 30) ・市幼保小連携推進協議会議の開催(R6.12.16、R7.2.19) (協議会の組織編成、設置要綱策定についての協議) (協議会構成員についての検討) ○小、幼保連携による行事(入学体験・説明会)の再開、充実
	(3)少子化に対応した活力ある学校づくり	A	○第2次松浦市小・中学校適正配置基本計画(素案)の策定 ・答申内容の精査と基本計画の構想及び素案策定

5 社会教育の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1) 学校・家庭・地域の連携強化	A	○上志佐小学校区、福島養源小学校・福島中学校区、鷹島小・中学校区及び新たにコミュニティ・スクールとなった調川小・中学校区、今福小・中学校区において地域学校協働活動推進員各1人を委嘱した。 ○市青少年健全育成連絡協議会、各地区青少年健全育成組織、市少年センター補導委員連絡協議会、市PTA連合会への支援（補助金交付）を行った。 ○子ども会員への全国子ども会安全共済会への加入奨励、加入手続（補助金交付）を行った。 ○市青少年健全育成連絡協議会、市子ども会育成会連絡協議会、市少年センター補導委員連絡協議会の事務局業務を担った。 ○少年センター運営協議会を1回開催した。 ○少年センターにおいて、青少年に関する48件の相談に応じ、解決に向けて学校、家庭、地域、関係機関（警察、子育て・こども課等）と連携した。 ○少年センターにおいて、子どもたちへの声かけ、補導（青色回転灯装備車（少年センター専用車）によるパトロールを含む。）を、警察、少年補導委員（37人）、市青少年健全育成連絡協議会等と連携して実施した。 ○少年センターだよりを毎月発行した。（市ホームページにも掲載） ○市内9地区全ての地区青少年健全育成組織にココロねっこ推進員1人を、市青少年健全育成連絡協議会にココロねっこ指導員4人をそれぞれ配置した。 ○青少年健全育成指導者研修会（兼 ココロねっこ指導員講習会）を開催した。 ○7月、11月の2回、有害図書等に関する立入調査を実施した。 ○白ポストを2か所（志佐、今福）に設置し、有害図書等を回収した。 ○メディア安全指導員を学校等へ4回派遣した。
	A	○市立公民館（8館）の一部、市立図書館（2館）の一部の主催講座・連携講座として、読み聞かせを開催した。 ○ながさきファミリープログラムファシリテーターの派遣要請はなかった。

項 目		評価	活動内容等
	③ 放課後の子ども の居場所づくり の推進	A	○各公民館の主催講座として、全ての公民館において、地域子ども教室をのべ92回開催し、のべ1,525人が参加した。 ○放課後児童クラブ（学童保育）のスペースとして、上志佐公民館の一室を供用した。
(2) 生涯にわたる 学びのサポート	① 生涯学習体制 の充実	A	○社会教育委員会を1回開催した。 ○まつうら出前講座ボランティア編への講師募集を行い、16件の登録があった。 ○まつうら出前講座において、ボランティア編14件（427人受講）、行政編136件（1,722人受講）の活用があった。 ○公民館運営審議会を1回開催した。 ○市ホームページ等において、イベント、講座をはじめとした社会教育・スポーツに関する各種情報を周知した。 ○郷土誌編さん事業には、現在、取り組んでいない。
	② 生涯学習施設 の整備	A	○社会教育施設（文化会館、公民館8館、図書館2館、少年センター、勤労青少年ホーム）の適切な管理運営に努め、必要な事業（工事、修繕、委託等）を実施した。 主なもの ・文化会館ゆめホール舞台調光操作卓取替修繕 ・文化会館ふれあいホール外部改修設計業務委託 ・生涯学習センター通路施設改修測量・設計業務委託 ・生涯学習センター通路施設改修地質調査業務委託 ・生涯学習センターAC-1系統空調機修繕 ・上志佐公民館調理実習室壁修繕 ・星鹿公民館ホール暗幕及びカーテンレール取替修繕 ○自治公民館補助金を4地区へ交付した。 ○コミュニティ助成事業助成金を2地区へ交付した。
	③ 生涯学習機会 の提供	A	○各公民館において、各種主催講座を開催した。（地域子ども教室を含む。） ・中央公民館 96回、1,626人 ・今福公民館 86回、1,442人 ・調川公民館 116回、1,600人

項 目		評価	活動内容等
			・上志佐公民館 40 回、 480 人 ・御厨公民館 89 回、 1,882 人 ・星鹿公民館 87 回、 1,112 人 ・福島公民館 97 回、 1,281 人 ・鷹島公民館 85 回、 692 人 計 696 回、10,115 人 ○各公民館において、公民館まつり等を開催した。 ○各公民館だよりを毎月発行した。（市ホームページにも掲載） ○各公民館の利用状況 ・中央公民館 2,522 回、16,855 人 ・今福公民館 1,793 回、10,256 人 ・調川公民館 1,098 回、 5,230 人 ・上志佐公民館 494 回、 6,175 人 ・御厨公民館 587 回、 7,910 人 ・星鹿公民館 268 回、 5,722 人 ・福島公民館 422 回、 3,156 人 ・鷹島公民館 407 回、 5,294 人 計 7,591 回、60,598 人 ○二十歳の式を挙行し、二十歳人（はたち～ず）224 人のうち 175 人が出席した。（出席率 78.1%）
	④ 人権教育の推進	A	○人権啓発映画上映会を開催し、130 人が参加した。
	⑤ 図書館運営の充実	A	○令和 6 年度末蔵書数 市立図書館 136,088 冊 福島図書館 27,543 冊 ○令和 6 年度末貸出冊数 市立図書館 91,070 冊 福島図書館 3,146 冊 ○令和 6 年度入館者数 市立図書館 24,008 人 福島図書館 2,251 人 ○図書館協議会の開催 2 回（9/26、2/20） ○研修会への参加 ・電子図書館サミット i n 九州・沖縄（WEB） 6/10 2 人参加 ・第 1 回図書館実務研修会 7/8 3 人参加 ・令和 6 年度読書活ネットワークづくり交流会 7/13 2 人参加（職員 1 人 ボランティア 1 人） ・第 24 回県北地域読み聞かせグループ交流会 11/17 8 人参加（職員 2 人 ボランティア 6 人） ・「図書館でのより良い医療情報提供のあり方を考える 2024」 1 人参加

項 目		評価	活動内容等
			・第110回全国図書館大会長崎大会 12/1～1/10 10人参加（対面 2人 WEB 8人） ・ここが知りたい！図書の補修 12/10 12人参加 （職員2人 図書支援員4人 教諭1人 ボランティア5人） ・西九州させば広域都市圏図書館相互スキル アップ事業 2/1 3/3 実施 0人参加 ○図書館だよりの発行（毎月）（市ホームページにも掲載） ○市ホームページ、フェイスブック、NBCデータ放送での図書館に関する各種情報の周知 ○図書館ボランティアの登録状況 ・団体 5団体 ・個人 12人 ○ボランティア団体との協働による読み聞かせや図書館運営の充実（数字はボランティアの参加数） 【市立図書館】 ・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施（ボランティア 約4組／月） ・市民読書の日に配布する図書館利用促進カード、しおりの作成 ・図書館主催イベントでの運営補助 ・蔵書点検 2/17～2/28 2人 ・おとまり読書会 in としょかん 8/17～8/18 1人 ○本や図書館に興味を持たせる為の企画・行事の実施 【市立図書館】 ・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施（47回 参加者のべ318人） ・こどもの読書週間イベント 4/23～5/12 ミニえほんコーナー みんなでつくろう！おさかなととしょかん 31人 利用者カードおなおし会 2人 きらきら号にのってみよう！ 62人 木のおもちやと絵本であそぼう 約100人 としょかんシネマスペシャル 9人 ・本活 5/4～5/19 ・本活 8/12～8/27 ・松浦に住む外国の人と話そう！（共催） 9/28 40人（外国11名） ・木育キャラバン参加 絵本コーナー（鷹島） 11/2 中止

項 目	評価	活動内容等
		・第7回松浦こども博参加 移動図書館展示等 11/4 ・民俗音楽×やさしい日本語 (共催) 12/15 53人 (外国 16人) ・本活 2/1～2/16 ・木育キャラバン (松浦) 2/8～2/9 ・家読活動推進事業 - おとまり読書会 i n としょかん 8/17～8/18 22人 - 木とくらし 11/3 55人 - レコードとオーディオの世界 11/30 18人 - 平田昌広さん絵本ライブ&爆笑ことばあそび 3/9 (生涯学習センター) 73人 3/10 (星鹿小学校) 91人 ・読書週間イベント 10/27～11/9 - 本活 10/27～11/10 - 木とくらし 11/3 55人 ・POPコンテスト 2025 11/1～2/26 - 応募 52点 大賞 3点 ・としょかんシネマ (毎月実施) 延べ 136人 ・特設コーナーの展開 (毎月) ・企画展示コーナーの展開 (毎月) ・行政連携コーナーの展開 (毎月) ○小・中学校の図書館担当職員との連携強化 ・小中学校への団体貸出や図書館イベントの周知 ○移動図書館車によるサービス ・移動図書館車における貸出冊数 31,594冊 ○まちづくり、情報発信機能としての図書館サービスの充実 【市立図書館】 ・すきスキだーいすき事業 (子育て・こども課との連携事業) 14回 104人 ・出前講座 (まつうら出前講座行政編『絵本の読み聞かせ』) - うつみ乳児保育園 7/31 - みんなの子育て広場 (対象／一般 親子) 2/4 (中止) ・読書活動推進計画啓発活動 ・西九州させば広域都市圏図書館相互スキルアップ事業加入 (相互利用サービス、相互レベルアップサービス) ○図書館活動への理解や教育活動支援のための職場体

項 目		評価	活動内容等
			験や研修活動、見学の受入 【市立図書館】 ・職場体験 - 志佐中学校職場体験 2人 - 御厨中学校職場体験 2人 - 調川中学校職場体験 1人 ・研修 - 公立学校職員社会体験研修（志佐中学校）1人 - 公立学校職員社会体験研修（調川中学校）1人 - 公立学校職員社会体験研修（上志佐小学校）1人 - 公共機関インターンシップ（長崎県立大学）1人 ・見学 - 御厨小学校2年生 23人 - 調川小学校2年生 15人 - 志佐小学校2年生 58人 - 星鹿小学校2年生 13人 - 鷹島小学校4年生 9人 - 上志佐小学校1・2年生 17人 - 志佐小学校4年生 14人 【福島図書館】 実績なし
	⑥ 人的交流事業の推進	A	○北海道鷹栖町、北海道福島町、長野県木曽町との相互交流事業を実施した。 ○国際教育・活動支援員 1人を任用し、市民の国際交流、国際教育活動を支援した。 ○松浦・マッカイ ビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテストを開催した。 ○オーストラリアデー・イベントを開催した。 ○市国際親善協会への支援（補助金交付）を行った。 ○市国際親善協会の事務局業務を担った。 ・姉妹都市マッカイ市との青少年使節団の相互派遣事業を昨年に引き続き、マッカイ市親善訪問団歓迎事業を5年ぶりに実施した。 ・市内の小学5・6年生を対象とした English Day Camp を開催した。 ・会員と会員家族、友人を対象とした English Day 及び世界のクッキング講座を開催した。 ・市民を対象とした英会話教室を開講した。 ・市内外の ALT を対象に日本語ボランティア活動を行った。

項 目	評価	活動内容等
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	A	○スポーツ施設（スポーツセンター、市民運動公園、武道館、野球場、福島総合運動公園、鷹島総合運動公園、鷹島スポーツ・文化交流センター、地域運動場（2か所）、上志佐小学校夜間照明施設、旧学校体育館（4館））の適切な管理運営に努め、必要な事業（工事、修繕、委託等）を実施した。 主なもの ・松浦市野球場スコアボード修繕 ・松浦市野球場スコアボード得点操作装置取替修繕 ・松浦市野球場内野メンテナンス業務 ・松浦スポーツセンター上部ガラリ固定他修繕
	A	○各種スポーツ大会、行事を開催した。 ・第19回市民体育大会 10競技、1,035人参加 ・第75回県民体育大会 11競技、204人参加 ・令和6年度都市対抗県下一周駅伝大会 21人参加 ・武道始め式 50人参加 ・第20回市民駅伝大会 450人参加 ・第8回なぎなた青島錬成会 中止 ・日本スポーツマスターズ2024長崎大会軟式野球競技 約500名来場 ・長崎スタジアムシティこけら落とし 福山雅治フリーライブ Great Freedom ライブビューイング 約100名来場 ・プロスポーツクラブ長崎自治体連携事業 - Vファーレン長崎サンクスマッチ 9/22 - V-DREAMプロスポーツ選手派遣事業 11/13 福島養源小、長崎ヴェルカ 12/6 上志佐小、Vファーレン長崎 ○屋内施設利用者数（文化会館を除く。） 47,921人 ○屋外施設利用者数 55,288人
	A	○ニュースポーツに関する出前講座を、スポーツ推進委員（総員34人のうち）により35回開催した。
	A	○市スポーツ協会、福島町一周駅伝大会実行委員会、県下一周駅伝大会、同大会出場チームへの支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（スポーツ部門）を53件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（スポーツ部門）を18個人、

項 目		評価	活動内容等
			4 団体に対し行った。 ○市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市スポーツ推進委員協議会の事務局業務を担った。
(4) 文化財の保護と文化芸術活動の推進	① 文化芸術活動の推進	A	○辻利平画伯絵画等、市所有の美術品の適正管理に努めた。 ○市民文化祭（作品展示）を開催し、453 点の出品と 1,540 人の来場があった。 ○市民文化祭（舞台発表）を開催し、16 団体の出演と 388 人の来場があった。 ○文化会館自主事業として、指定管理者により 11 事業が開催された。 ○文化会館利用者数 64,106 人 ○市文化協会、県展実行委員会への支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（文化部門）を 8 件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（文化部門）を 5 個人に対し行った。 ○令和 7 年秋に開催の第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭に向け、本市の地域文化発信事業の企画、プレイベントの実施と周知広報を行った。

6 文化財の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1)文化財の保存と活用	①文化財の指定と保全管理	○国指定史跡鷹島神崎遺跡防犯・防災パトロールを実施した。 ○県指定史跡「松浦党梶谷城跡」景観対策事業として樹木の伐採を行った。 ○県指定史跡「松浦党梶谷城跡」リーフレットを作成し、現地で配布を開始した。
	②文化財を活用したまちづくり	○文化財保存活用地域計画の文化庁長官認定を受けるとともに、関連事業に着手した。 ○文化財保存活用地域計画推進協議会を設置し、Ⅰ期における取組状況の確認を行った。 ○市道改良事業に伴う中ノ瀬遺跡の本調査を行うとともに、調査報告書を刊行した。 ○「全国各地の魅力的な文化財活用推進事業」の採択を受け、文化観光課と連携し文化財を活かした観光コンテンツの造成に取り組んだ。
	③国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画の具現化	○保存管理計画における中期(10年)目標へ向けた取組を実施した。 ○日本における水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業にともなうパイロット事業(以下「水中遺跡保護パイロット事業」)に関する業務を受託し、年度内事業を完了させた。 ○モニタリング調査を3回実施した。 ○鷹島海底遺跡調査指導委員会及び保存処理専門部会を開催し、遺物の保存処理等で意見と指導を受けた。 ○埋蔵文化財センターにおいて大型木製品(隔壁板)のX線調査を実施した。 ○出土遺物台帳整備事業を実施し、データベース入力等を行った。 ○鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理を実施し、木製品等の強化処理を行った。 ○(株)ナガセヴィータと連携協定を締結し、トレハロースを活用した保存処理の情報共有を行うこととした。 ○北海道江差町に職員を派遣し、「開陽丸遺跡」調査の研修を行った。
(2)文化財の情報発信	①文化財の情報発信	○鷹島海底遺跡出土遺物の複製品の製作を行った。 ○SNSを活用し、埋蔵文化財センターの活動情報等を発信した(計200件以上)。 ○水中遺跡保護パイロット事業の調査状況を、パネル等を用いて公開した(水軍まつり、松浦こども博、九州国立博物館、鷹島公民館まつり、市立図書館)。

項 目	評価	活動内容等
		○博物館等の展示に資料(遺物等)の貸出しを行った。 ・九州国立博物館平常展(常設) ・福岡市博物館常設展示 ・福井洞窟ミュージアム常設展示 ・國學院大學博物館 文永の役 750 年特別展 Part1「海底に眠るモンゴル襲来 水中考古学の世界」(9/21~11/24) ・那珂川市松口月城記念館 那珂川黎明 2024「蒙古襲来と那珂川市 少弐景資活躍の裏側」(10/2~12/15) ・武雄市図書館・歴史資料館 企画展「戦いと伝承 中世武士と「武雄の荒踊」」(11/16~12/15) ・國學院大學博物館 文永の役 750 年特別展 Part2「絵詞に探るモンゴル襲来『蒙古襲来絵詞』の世界」(11/30~2/16) ・宇城市不知火美術館 元寇 750 年企画展「蒙古襲来絵詞のリアル 海底に残された元寇」(12/15~1/26) ・長崎県図書館郷土資料センター 企画展「松浦ゆかりの資料展」(1/7~3/16) ・高知県立歴史民俗資料館 企画展「西南四国の中世社会と公家」(2/28~5/6) ○各種講演等に職員を派遣した。 ・武雄歴史研究会 令和6年度第 1 回例会講演(6/29) ・水中考古学の未来を語る～鷹島海底遺跡の Deeeep な、トークライブ×長崎松浦ディナー(7/6) ・長崎県立大学講義出講「行政の実務と実践」(11/11) ・福岡市西区 元寇 750 年シンポジウム「蒙古襲来とその遺産」パネルディスカッション(11/30) ・福岡事務所 アジフライパーク「元寇トーク」(12/7)・宇城市不知火美術館 元寇 750 年企画展オープニングセレモニー&トーク(12/15) ・北海道江差町 講座「水中遺跡を調査する！！」(12/21) ・長崎県 シンポジウム「モンゴル襲来と海の路 元の軍船の航跡を探る」(2/15) ・文化庁 文化観光セミナーin 熊本(3/5) ○市内外へのイベントへ出展し PR を行った。 ・國學院大學博物館 ワークショップ(9/21~23) ・松浦水軍まつり(10/26~27) ・松浦こども博(11/4) ・九州国立博物館 特別展示「蒙古襲来の痕跡を探る」体験イベント(11/16~17) ・武雄市歴史文化体験ツーリズムモニターツアー(11/30)

項 目		評価	活動内容等
			○元寇所縁のネットワークを発足した。(4/22) ・資料の相互貸出、元寇カードの作成、重ねおしスタンブ事業に取り組んだ。 ・発足式後追加加入があり、29 自治体となった。
	②歴史文化に親しむ 機会の提供	A	○体験学習会等各種講座を実施した。 ・埋蔵文化財センター体験学習(鷹島中、調川中、御厨中、今福小、上志佐小、鷹島小、星鹿小、青島小、御厨小、福島養源小) ・出前講座(志佐中、調川小、教職員等初任者研修、松浦ロータリークラブ) ・鷹島小学校「水中考古学クラブ」 ・鷹島公民館講座「水中考古学教室」 ・埋文センター職場体験(鷹島中2年生) ○埋蔵文化財センターにおいて企画展を2回開催した。 ・「元寇所縁のネットワーク展」 ・「令和6年度鷹島海底遺跡発掘調査速報」 ○埋蔵文化財センターの入館者数は、4,819 人(対前年度比△1.59%)であった。
	③水中考古学の拠点 を目指すための普及・啓発活動	A	○水中遺跡保護パイロット事業において、現地研修会を開催し12人(潜水調査5人、船上視察7人)が参加した。 ○現地研修に参加した北海道江差町職員による「開陽丸遺跡調査報告会」を開催した。 ○長崎県及び長崎県議会に対し「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」と題し、研究機関の設置等について要望した。 ○国会議員へ「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」と題し、研究機関の設置等の要望活動を実施した。
(3)伝統文化の保存 と継承	①伝統文化の継承	A	○市指定無形民俗文化財の継承及び公開に努めるため保存会等へ助成を行い保存・継承に努めた。 ○各保存団体等へアンケートを実施し、現況把握に努めた。 ○市指定無形民俗文化財「田ノ平浮立」、「星鹿ジャンガラ」、「浅谷浮立」を映像で記録した。